

## 第 93 回総務委員会と経産省ヒアリング記録

### 1. 開催日時 平成 20 年 9 月 19 日 (金)

|       |             |          |
|-------|-------------|----------|
| 11:00 | 第 93 回総務委員会 | 鉄鋼会館 806 |
| 14:00 | 経産省ヒアリング    | 経産省      |
| 15:30 | 業界紙記者と懇談    | 事務局      |

### 2. 第 93 回総務委員会

#### 出席者

吉里 勉 総務委員長  
高木 建 (理事長)  
酒匂雅信 (副理事長・東京支部長)  
川口克彦 (副理事長・東海支部長)  
永吉明彦 (副理事長・大阪支部長)  
木村昭夫 (副理事長・九州支部長)  
臼井美文 (生産性委員会・品質保証分科会主査)  
柘野 (事務局)

#### 議 題。

- (1) 「品質保証分科会」の活動報告について
- (2) 経済産業省ヒアリング資料の検討について
- (3) 「熱切断作業の品質と安全講習会」の開催結果について
- (4) 平成 21 年合同賀詞交歓会の役割分担について
- (5) 平成 22 年合同賀詞交歓会の新会場について
- (6) 次期(第 34 期)全国通常総会の開催概要について
- (7) その他 (①交通費支給基準、②鉄鋼会館の会議費・料飲費、  
③ I T 委員会関係)

#### 経 過

##### (1) 「品質保証分科会」の活動報告について

臼井品質保証分科会主査(富士鉄鋼センター取締役)より、分科会活動の中間報告として、鋼材品質証明に関するアンケート結果(組合員対象; 6 月末実施)、及び当組合の要望・意見書(日本鋼構造協会の委員会に 7

月提出)の内容を中心に説明・報告が行われ、了承された。なお、本件に関しては、各支部長を通じて関連資料を全国組合員に配布し、意見・質問を聞くこととなった。(詳細は本誌 2 ページ以降参照)

## (2) 経済産業省へ提出のヒアリング資料の検討

事務局より標記資料について説明、了承された。(別添資料参照)

## (3) 「熱切断作業の品質と安全講習会」の開催結果について

事務局より、今年初めて日本溶接協会と共催(昨年までは後援)で開催した標記講習会の開催結果について報告。概要は以下の通り。

日 時：平成 20 年 8 月 29 日(金) 10:30~16:30

場 所：大阪大学 中之島センター 10 階ホール

参加者：有料受講者 108 名(うち当組合員は 47 名)

なお、次回は 21 年 8 月末、東京で開催の予定。

## (4) 平成 21 年合同賀詞交歓会の役割分担について

事務局より、来年 1 月 14 日(水)午後 5 時、虎ノ門パストラルで開催される鉄鋼流通 6 団体の合同賀詞交歓会に関し、今回幹事団体である当組合の役割分担(案)について説明があり、以下のとおり決定した。

司 会：吉里 勉 理事・総務委員長

開会挨拶：高木 建 理事長

中締挨拶：酒匂雅信 副理事長・東京支部長

## (5) 平成 22 年合同賀詞交歓会の新会場について

事務局より、再来年(平成 22 年)の賀詞交歓会会場は虎ノ門パストラル閉館に伴い新会場での開催となる。そのため現在幹事団体となる予定のコイルセンターを中心に新会場選定を進めているところである。これまでのところ条件面で 3 会場(明治記念館、等)が候補に挙がっており折衝中である旨報告が行われた。

## (6) 次期(第 34 期)全国通常総会の開催について

木村九州支部長より、次期通常総会の開催会場(指宿いわさきホテ

ル) の下見の感想について「印象としては概ね良好であったが、いくつか問題点もあり工夫が必要」との報告があり、今後同支部長の指摘点を踏まえ準備を進める予定。開催概要は以下の通り。

#### 通常総会及びパーティ

日時：平成 21 年 5 月 22 日（金）午後 3 時

場所：鹿児島県指宿市「指宿いわさきホテル」

#### 総会懇親ゴルフ会

日時：平成 21 年 5 月 23 日（土）

場所：「いぶすきゴルフクラブ」（12 組）

### (7) その他

#### ①委員交通費支給基準の見直し

事務局より、2001 年に改定されて以来据え置きとなっていた現行の標記交通費支給基準に関し説明。審議の結果、来年度から以下の基準で実施することとした。

総会・理事会・賀詞交歓会・・・支給しない

総務委員会・支部長会・・・往復交通費を支給

市場委員会・生産性委員会・・・往復交通費を支給

#### ②鉄鋼会館の会議費・料飲費

鉄鋼会館より、標記料金の割引率を 21 年度から、会議費は 30% から 20% へ、料飲代は 5% からゼロへ変更したい旨申し入れがあり、やむなしとの意見が太宗を占め了承された。

#### ③ I T 委員会関係

東京支部 I T 委員会（委員長：久保神鋼鋼板加工部長）は全国工組の代行として組合ホームページの立ち上げと維持管理に努めてきた。その中核的役割を果たしたのが横河技術情報の染宮氏で、同氏は組合事務局・I T 部門担当の資格で I T 委員会のオブザーバーとして参画。同氏には横河技情退社後もこれまでと同様、可能な限り委員会活動の支援をお願いすることで了承された。

### 3. 経済産業省ヒアリング

#### 出席者

経済産業省

石川鉄鋼課長、松渕課長補佐、芳澤係長、他

厚板シヤ工組

高木理事長、酒匂・東京支部長、川口・東海支部長、  
永吉・大阪支部長、木村・九州支部長、吉里・総務委員長  
柘野（事務局）

#### 経 過

高木理事長の司会により進行。最初に石川鉄鋼課長より、「足元の数字は悪くはないがいつまで続くのか不安。厚板需給環境も要注意の動きが出てきている。世界金融不安、アジア各国のインフレ進行、そのインフレ抑制から金利が上がれば、設備投資が冷え込む。産業機械、自動車は確実に影響を受ける。重電、橋梁は今のところ堅調だが、船は材料不足が深刻化しているし、大型建築案件も来年以降まで続くのかよく見えない部分がある。アジア経済は春から減速してきているが、特に中国の成長率がもし2ケタを割り込むようだと影響はかなり大きいだろう。

現在シヤ工組として品質管理の問題に取り組まれているが、この辺のルール化もルールが強すぎるとだれも守れないし、緩すぎると効果的でないし、実をとるのは非常に難しい。本件で当局がご協力できることがあれば何でも申し出てもらいたい。」とのコメントがあった。

引続き、事務局から資料説明を行なった後、各支部長よりそれぞれ支部の需要動向について報告を行なった。

以上